ソフトウェア概論 A/B

-- データ構造 (3) --

(データ構造の利用と多次元配列)

数学科 栗野 俊一 / 渡辺 俊一

伝言

私語は慎むように !!

- 色々な「お知らせ」について
  - 栗野の Web Page に注意する事

    http://edu-gw2.math.cst.nihon-u.ac.jp/~kurino
- 講義開始前に済ませておく事
  - PC の電源を入れる
  - ネットワークに接続しておく事
  - 今日の資料に目を通しておく事
- 講義前の注意
  - 講義前は、栗野は準備で忙しいので TA を捕まえてください
- やる気のある方へ
  - 今日の資料は、すでに上っています
    - どんどん、先に進んでかまいません
- 本日の CST Portal の出席パスワード : 20141017
  - 出席は成績に影響しませんが、折角の機能なので、使いましょう

前回 (2014/10/10) の復習

- 前回 (2014/10/10) の復習
  - データ構造 (2)
    - for 文 (while 文と同等だた 配列との連携で便利)
    - 配列とその応用

お知らせ

- 本日の予定
  - データ構造 (3)
    - データ構造とその応用
    - 多次元配列
- 本日の目標
  - 演習
    - 課題の提出

前回 (2014/10/10) の課題

- 前回 (2014/10/10) の課題
  - 課題 1: 次回(2014/10/17)に回す
    - ファイル名 : 20141010-1-QQQQ.c (QQQQ は学生番号)
    - 内容 : 複素数型の四則
    - ファイル形式 : テキストファイル(C 言語プログラムファイル)
  - 課題 2: 次回(2014/10/17)に回す
    - ファイル名 : 20141010-2-QQQQ.c (QQQQ は学生番号)
    - 内容 : 二次元行列の和、差、積
    - ファイル形式 : テキストファイル(C 言語プログラムファイル)
  - 課題 3:
    - ファイル名 : 20141010-3-QQQQ.c (QQQQ は学生番号)
    - 内容 : 0 ～ 99 迄の偶数を出力する
    - ファイル形式 : テキストファイル(C 言語プログラムファイル)
  - 課題 4:
    - ファイル名 : 20141010-4-QQQQ.c (QQQQ は学生番号)
    - 内容 : 配列を使って 5 個の数の 5 倍と 1/2 を出す
    - ファイル形式 : テキストファイル(C 言語プログラムファイル)
  - 課題 5: 次回(2014/10/17)に回す
    - ファイル名 : PPPNAME-3-QQQQ.c (QQQQ は学生番号)
    - 内容 : 3 次元ベクトルの差

本日の課題 (2014/10/17)

- 本日 (2014/10/17) の課題
  - 課題 1: 前回(2014/10/10)の課題
    - ファイル名 : 20141010-1-QQQQ.c (QQQQ は学生番号)
    - 内容 : 複素数型の四則
    - ファイル形式 : テキストファイル(C 言語プログラムファイル)
  - 課題 2: 前回(2014/10/10)の課題
    - ファイル名 : 20141010-2-QQQQ.c (QQQQ は学生番号)
    - 内容 : 二次元行列の和、差、積
    - ファイル形式 : テキストファイル(C 言語プログラムファイル)
  - 課題 3: 前々回(PPPDATE)の課題
    - ファイル名 : PPPNAME-3-QQQQ.c (QQQQ は学生番号)
    - 内容 : 3 次元ベクトルの差
    - ファイル形式 : テキストファイル(C 言語プログラムファイル)

多次元の配列

- □ 多次元の配列
  - ○ 配列の配列が作れる : 多次元配列
  - ○ [例]
    - ▹ int d[3][4]; /* 二次元 3 × 4 の 12 個の要素を持つ配列 */
  - ○ 次元は幾つでも増やす事ができる
    - ▹ int t[3][4][5]; /* 三次元配列 */
- □ データ構造の利用
  - ○ データ構造を利用する事により、様々な機能がより簡単に表現できる